

一般社団法人日本映像アーキビスト協会 2020 年度事業計画書

当法人は、法人登記を経て、2020 年 5 月 1 日に設立されました。しかし、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、その後、設立時理事らによる理事会や事務局会議は、主にオンラインで、定期的に行っているものの、設立総会や会員募集、法人の目的に沿った事業には着手できない状況が続いております。

そこで、今年度は、事業計画の対象期間を下半期(2020 年 10 月 1 日～2021 年 3 月 31 日)に限り、総会開催が可能になるまでの間は、理事会の承認を以て、本計画を遂行するものと思いたいと思います。

【2020 年度事業計画】

本年度は、web を中心とした活動を主に行う。

1. 映像アーカイブに関する調査研究(研究会、ワークショップ等の実施)、映像アーカイブに関する刊行物(教科書、ハンドブック、用語集、ジャーナル、ニューズレター、映像コンテンツ等)の発行、映像アーキビストの社会的認知に関する普及啓発(会員間のネットワーク構築、映像アーキビストの認知向上を目的とする広報活動等)など
 - 公式ホームページの充実とメッセージプラットフォームを用いた交流の試行
 - (1) 各研究会(分科会)⇒「ボーンデジタル映画の保存(デジタル映画保存研究会)」や「作品固有の ID を付与する取り組み(ナショナルフィルモグラフィ研究会)」、「フィルム環境継続研究会」などの発足を検討。
 - (2) オーラルヒストリー⇒映像アーカイブに携わってきた人たち、映像アーカイブとの関連が深い仕事をしてきた人たちへの聞き取りを実施・蓄積・公開していくプロジェクト。後々の書籍化も検討。
2. 映像の文化的、芸術的、歴史的及び教育的価値に対する社会的認識ならびに関心の向上促進
 - 基金設置の検討
3. 映像アーカイブ機関ならびに隣接機関との連携、協力
 - 映画の復元と保存に関するワークショップ 2020(仮称)への協力

以上、一般社団法人日本アーキビスト協会のために作成した 2020 年度事業計画書について、設立時代表理事(会長) 榎本章が、以下に記名押印する。

2020 年 10 月 13 日
代表理事(会長) 榎本章